



RI第2620地区  
静岡第2分区

■会長:高原敏廣君 ■幹事:加藤頌吾君  
●司会:今福祝子君  
■URL:<http://mrc.e47.jp>



### ご存知ですか？この人。～あの人・自分 Watchingで親交を深めよう～

●行動タイプ：オリジナルタイプ ●どんな人？：ゴーイングマイウェイで初志貫徹 ●言われて好きな言葉：個性的、独創的、芯が強い ●タブー：自分のペースを乱される、人と同じ ●思考：目標思考型 ●仕事の傾向：スピード感や物事へのとっかかりは遅いものの、一度決めたら石にかじりついても成し遂げる意地を持っています。社会の流行やスピードに影響されることなく、自分のペースで淡々とこなしていく ●能力：相手に対して不快感、不信感を抱かせない巧みな表現力で関わる人達の心をつかみ、強固にまとめ上げる対話力。人と人、モノとモノ、情報と情報などあらゆるものをミックスさせて新しいものを生み出す応用力をもつ ●今後：「自分」というのが常にキーワード。他人と同じやり方をしてもうまくいかなかったり、自分なりに気を使ってみてもかえって逆効果になったり、無理して苦手なところを伸ばすよりも、そのオリジナリティ溢れる感覚を鋭敏に！

今週のこの人／松田吉嗣・1955年 7月25日生れ

ISD ビジネスロジックマスターインストラクター／チェリースター(株)小野美貴 先生

### ● 会長挨拶

会長 高原敏廣君

4月も残り僅かになりました。昼の例会はあと6回になりました。もうゴールデンウィークで頭がいっぱいの方々もいらっしゃると思います。

終わり近づいた今日この頃、計画書をよく見てみると地区目標が、一番上に書かれています。数年前のものとは比べてみましたら、随分様変わりしています。特にロータリー財団の6つの重点分野から、4項目が、地区目標になっています。2つ抜けている分野は教育の支援と地域経済の発展です。6つの内の4つは以下の通りです。

平和の推進：紛争の予防・仲裁や難民支援に当たる人材を育て、異文化間の交流と対話を促すことで、平和な世界づくりを目指します。

疾病との闘い：ポリオ、エイズ、マラリヤなど命を脅かす病気について正しい知識を伝え、発展途上国で定額または無料の医療を提供するなどして、病気の予防と治療を支援する。

水と衛生：「ただ井戸を掘って終わり」ではなく、きれいな水や衛生設備を活用して長期的な地域発展が実現できるよう、包括的な支援を行う。

母子の健康：世界では毎年、5歳以下の子供600万人近くが、栄養失調、不健康、不衛生のために命を落としています。ロータリーは、質の高い医療により母と子の健康を守っています。

他の2つは教育の支援と地域経済の発展です。

教育の支援：主に識字率の向上に力を注いでいます。世界で読み書きができない人(15歳以上)は、7億7500万人。

地域経済の発展：生産的で十分な収入をもたらす雇用の機会の創出を通じて人々の自立を促し、発展途上地域の企業を応援しながら、リーダーとなる人材を育てます。

以上が、ロータリー財団の提唱する6つの重点分野の簡単な解説です。尚もっと詳しく知りたい方は、マイロータリーにログインして調べてください。

### ● ゲスト・ビジター

日大三島高校 早坂知也先生

### ● 出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	35/43	81.40%	40/43	93.02%
今回	36/42	85.71%	会員総数:47名	

<欠席者>

・稲葉君 ・河田君 ・高原君 ・高木(速)君 ・山本君  
・渡辺(妙)君

### ● 幹事報告

幹事 加藤頌吾君

- ①米山記念館春季例祭に参加頂き有り難うございました。
- ②本日の卓話は中村 仁君です。宜しくお願ひ致します。
- ③日大三島高等学校中学校のインターアクト顧問の早坂先生が三島高校の60周年記念事業のお願いに来ています。
- ④5月2日(水曜日)は特別休会になります。次回例会は5月9日山本雅弘君の卓話になっております。
- ⑤5月の理事・役員会は5月9日例会終了後に開催予定です。



クラブ会長指針

CHANCE to CHANGE

RI会長 イアンH.S. ライスリー

ロータリー：変化をもたらす

## 『最近四半世紀における 県内水産業界の変革・現状』

### 1、水産業界における市場

- ・生産市場と中央市場
- ・大卸と仲卸
- ・生産者と市場
- ・市場と量販店等末端
- ・センタ機能と流通

①25年前までは 鮮魚・水産加工品は市場流通がほとんどでした。すべての商品が 市場に集まり、大卸から 仲卸・買参権をもつ魚屋さん等へ、そこから飲食店や量販店へ流通しました。市場（担当者）が大変な力を持っていました。

②産直・メーカー直、といった流通形態が 水産業界でも目立ってきたのはこの20年程。市場に遠慮をし、直接販売することがタブーであった雰囲気・空気が薄らいできました。大型量販店の多店舗展開による独自の配送センタ建設なども変革に拍車をかけました。

③市場を通すことによる、【品質良い製品の 安定供給と流通システム】の確保、が意味の少ないものになっていきました。市場により良い品質のものを優先する、という何よりの財産・大前提が薄れました。

④仲卸同士の競争から、広域における 大卸や場外流通業者も含めた 仁義なき戦いへ。

### 2、大手商社等 流通大手の戦略

加工メーカーに対しては 原料供給と商品販売をセットにした形態などが出てきました。

商社のトップと、大手量販店や大手飲食店（回転すし、ファミレス、居酒屋・・・）、のトップが 年間の商品の流れの大枠を決める形態。商社等による 流通会社や量販店、加工工場への資本参加・買収、子会社化なども。

### 3、これからの営業活動、資本提携など業界のスタイルの変革

仲卸の存在、魚屋（小売店）、飲食店とは？通販・宅配など、鮮魚までもが業態を変える？

古い縁故に縛られた営業活動から、新しい関係（資本など）に縛られる営業活動へ。

### 4、国際競争（価格）と異業種（食肉業界など）間の競争、食生活の変化

日本人が魚の価格で 世界1のお金持ちであったのは、過去のできごと。

魚はいらない？食生活の変化と食事単価。

日本の食文化・加工技術を生かした世界展開・国際進出は可能か？

中村 仁

1969年生まれ 49歳

三島市立中郷中学校 卒業

韮山高校 理数科卒業

名古屋大学 法学部卒業

山一証券 入社

有限会社 魚春冷凍部

有限会社さくら水産 創業

地区研修・協議会報告

会員増強・維持会員部会

勝又幹雄君

2018.4.14 12時30分からの分科会はアピオ本館2階平安の間で 約190人の参加者で開催されました。

大塚良重さんの米山梅吉翁の語り部から始まり、クラブの現状と課題について報告がありました。現状としては、会員の高齢化・会員の減少・例会出席率の低下。運営等の課題については、例会・委員会活動などのマンネリ化、ネット対応の不十分・会員に対する研修不足などが報告されました。

高齢となった会員を引き留め継続して会員数を維持する努力と理解を求めることも大切であり、さらに新会員については この人と思ったら粘り強く交渉し、仲間になってもらう。そのため普段からロータリーのビジョンと価値観を持った活動をしていることを伝え、理解してもらい賛同してもらい会員となってもらうよう努めていくことが大切である。とのまとめで分科会を閉じました。

## ● 会員祝事

会員誕生日：青田守弘君

入会記念日：米山善博君 今福祝子君 勝又一郎君

奥様誕生日：星合義弘君 小野 毅君

結婚記念日：宮内正敏君 佐藤浩美君 福士博光君

西原孝次君 杉村伸二郎君 山岡修一君

## スマイルBOX

●杉村伸二郎君

4月23日に、1年半前からはじめた四国八十八ヶ所巡礼の旅を無事に終わることができました。達成感をあじわえました。



米山記念館春季例祭

4月21日(土)